

Fig. 3 前震，本震，最大余震のメカニズム解。東北大学，Hi-net，気象庁のデータを用いて，DD法で震源を再決定した。P波初動の押し引き分布から決定したメカニズム解（左図）とモーメントテンソル解（右図）を下半球等積投影法で示す。

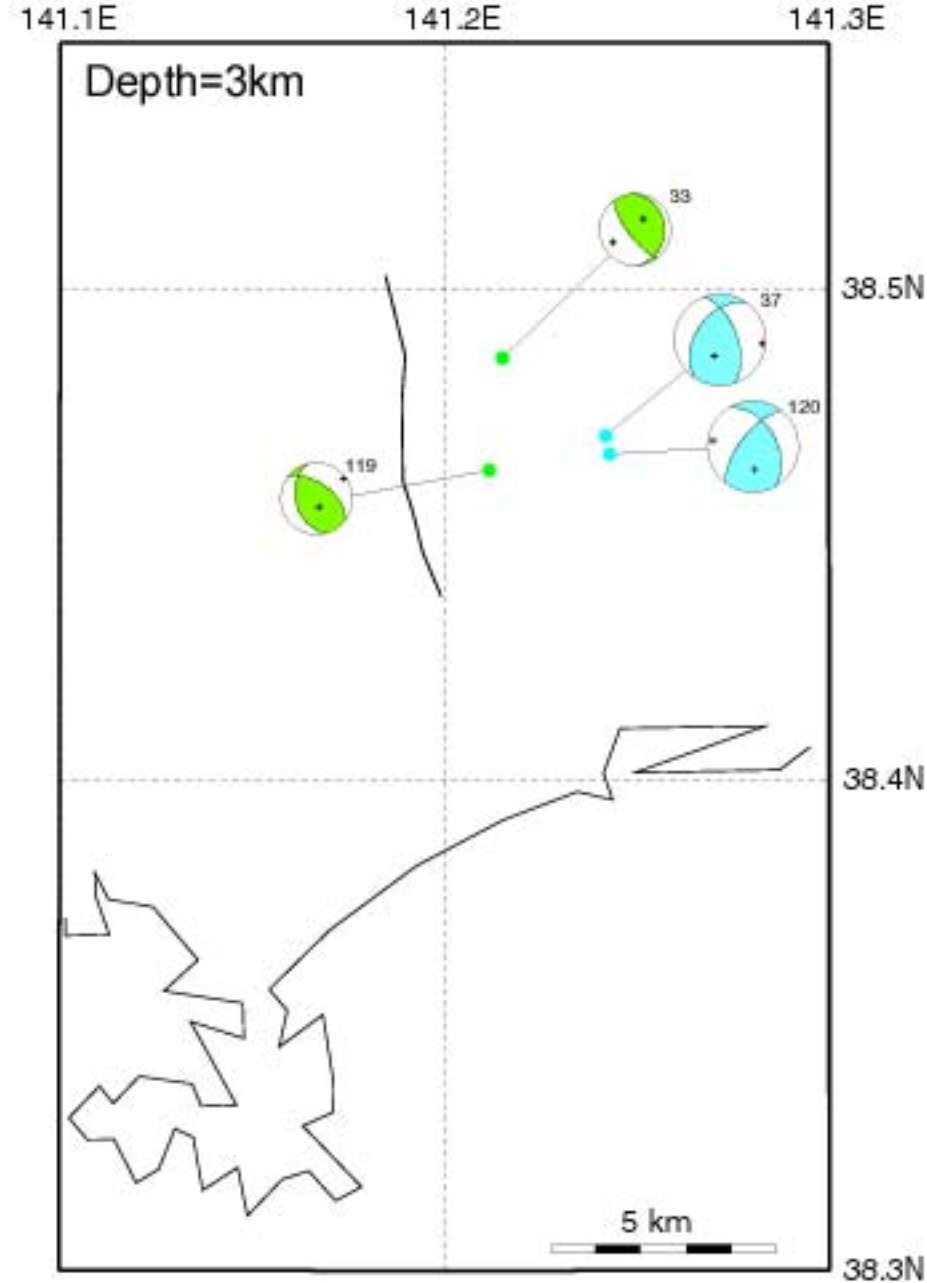


Fig. 4 併合データによる余震のメカニズム解。2003年7月26日17時46分～8月3日12時37分に発生した余震をDD法で再決定した。P波初動の押し引き分布から決定したメカニズム解を下半球等積投影法で示す。数字は地震番号である。